

環境対策と技術開発

～人と環境に優しい社会を目指して～

今回は、人体への悪影響がとり立たされているPM2.5（微小粒子状物質）などの大気汚染の問題や環境問題への対策技術に焦点を当て、東京電機大学より3名の講師をお迎えしてご講演をお願いします。

講演後には、講師の先生や大学スタッフと参加者同士が交流をもつための懇親の場もご用意しております。つきましては、日頃より、環境対策技術や産学連携、異業種交流に関心のある貴社へ、ビジネスへの一助となりますよう、ご案内申し上げます。

◆ 講演

◇「粒子状物質の生成メカニズムや抑制技術」

講師 小林 佳弘 東京電機大学 工学部機械工学科 准教授

講演概要：近年、自動車エンジンや工場などの燃焼場から排出されている粒子状物質（PM:Particulate Matter）による大気汚染や人体への健康影響などが問題視されている。本講演では、PMの生成メカニズムや抑制技術（燃焼制御や後処理技術）についてご紹介します。

◇「光応答で繰り返し酸素吸着できる高分子材料」

講師 鈴木 隆之 東京電機大学 工学部環境化学科 教授

講演概要：現在市販の酸素吸着材料はディスポーザブルなものです。ここでご紹介する高分子材料は、光照射によって空気中の酸素を吸着したり、更に吸着した酸素を脱離したりできます。この現象は繰り返しが可能なので、回数を重ねるほど1回当たりの酸素吸着コストが下がります。

◇「環境バイオテクノロジーの課題とその利用について」

講師 椎葉 究 東京電機大学理工学部理工学科生命理工学系 教授

講演概要：近年、環境修復（バイオレメディエーション）やバイオエネルギー生産などのバイオ技術は、主に微生物を利用し低コストで実現性が高い技術であり、産業的にも利用されている。しかし技術的課題もあり、その早期解決が期待されています。

◆ 交流会

参加者全員による立食形式の懇親会

日時：平成26年6月24日（火） 13:30～18:00

会場：東京電機大学（東京千住キャンパス）

参加費：無料（交流会含む）

締切り：平成26年6月20日（金）

主催：東京電機大学 / リそな中小企業振興財団 / 埼玉りそな産業経済振興財団

～ 開催要領 ～

1. 日 時 平成26年6月24日(火) 13:30～18:00
2. 会 場 東京電機大学 東京千住キャンパス 1号館2階 1204 セミナー室
所在地: 〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番 ※会場詳細は会場案内をご覧ください
TEL: 03-5284-5225 (産官学交流センター)

3. 主な次第

- (1) 主催者挨拶・次第説明・紹介 13:30～
○東京電機大学における産学連携の紹介
研究推進社会連携センター 研究コーディネーター 亀井 隆夫 氏
- (2) 講演会 14:00～16:40
- ◇講演テーマ①「粒子状物質の生成メカニズムと抑制技術」 14:00～14:50
講 師 東京電機大学 工学部機械工学科 准教授 小林 佳弘 氏
《 休憩 10分 》
- ◇講演テーマ②「光応答で繰り返し酸素吸着できる高分子材料」 15:00～15:50
講 師 東京電機大学 工学部環境化学科 教授 鈴木 隆之 氏
- ◇講演テーマ③「環境バイオテクノロジーの課題とその利用について」 15:50～16:40
講 師 東京電機大学 理工学部理工学科生命理工学系 教授 椎葉 究 氏
- (3) 交流会 参加者全員による懇親会 16:45～18:00
★懇親会では飲食を伴いますが、お車でお越しの方にはアルコール類の提供を致しませんのでご了承ください。
4. 募集対象 中堅・中小企業製造業の経営者および技術担当者の方を優先します。
5. 定 員 80名程度(先着順)
6. 申込方法 参加申込書を E-mail (staff@resona-fdn.or.jp) 又は FAX (03-3444-9546) にてお送り下さい。
★出来るだけ多くの企業様をご参加いただけますよう、お申込は1社につき2名様までとさせていただきます。

～ 講師ご紹介 ～ (講演順)

- 小林 佳弘 (こばやし よしひろ) 氏
略 歴: 2009 群馬大学大学院 博士後期課程 修了 博士(工学)
2009 東京電機大学 工学部機械工学科 助教
2012 東京電機大学 工学部機械工学科 准教授 現在に至る。
- 鈴木 隆之 (すずき たかゆき) 氏
略 歴: 1994 早稲田大学大学院 工学研究科 後期博士課程 修了 博士(工学)
1995 米国コロラド大学 博士研究員 1996 米国ピッツバーグ大学 博士研究員
1998 山形大学 工学部 博士研究員 1999 信州大学 繊維学部 助手
2000 東京電機大学 工学部 助教授 2007 同大学 同学部 教授 現在に至る。
- 椎葉 究 (しいば きわむ) 氏
略 歴: 1983 筑波大学大学院環境科学研究科 修了
1983～2011 日清製粉㈱勤務
この間、主に同社研究所で20年以上、食品と環境バイオテクノロジー分野に従事
1996 九州大学にて博士号(農学)取得
2011 東京電機大学理工学部生命理工学系 教授に就任 現在に至る。

参加申込書 (東京電機大学 6月24日開催)

本申込書を E-mail (staff@resona-fdn.or.jp) 又は FAX (FAX 03-3444-9546) にてお送りください。
 ※太枠内の項目は、会当日に有意義な交流ができますよう参加者名簿として適宜編集し当日出席者の皆様へ配布します。
 ※個人情報については、主催者が開催する各種事業のご案内以外には利用致しません。

公益財団法人 リそな中小企業振興財団 行

締切日：6月20日(火) ※但し定員になり次第締切ります

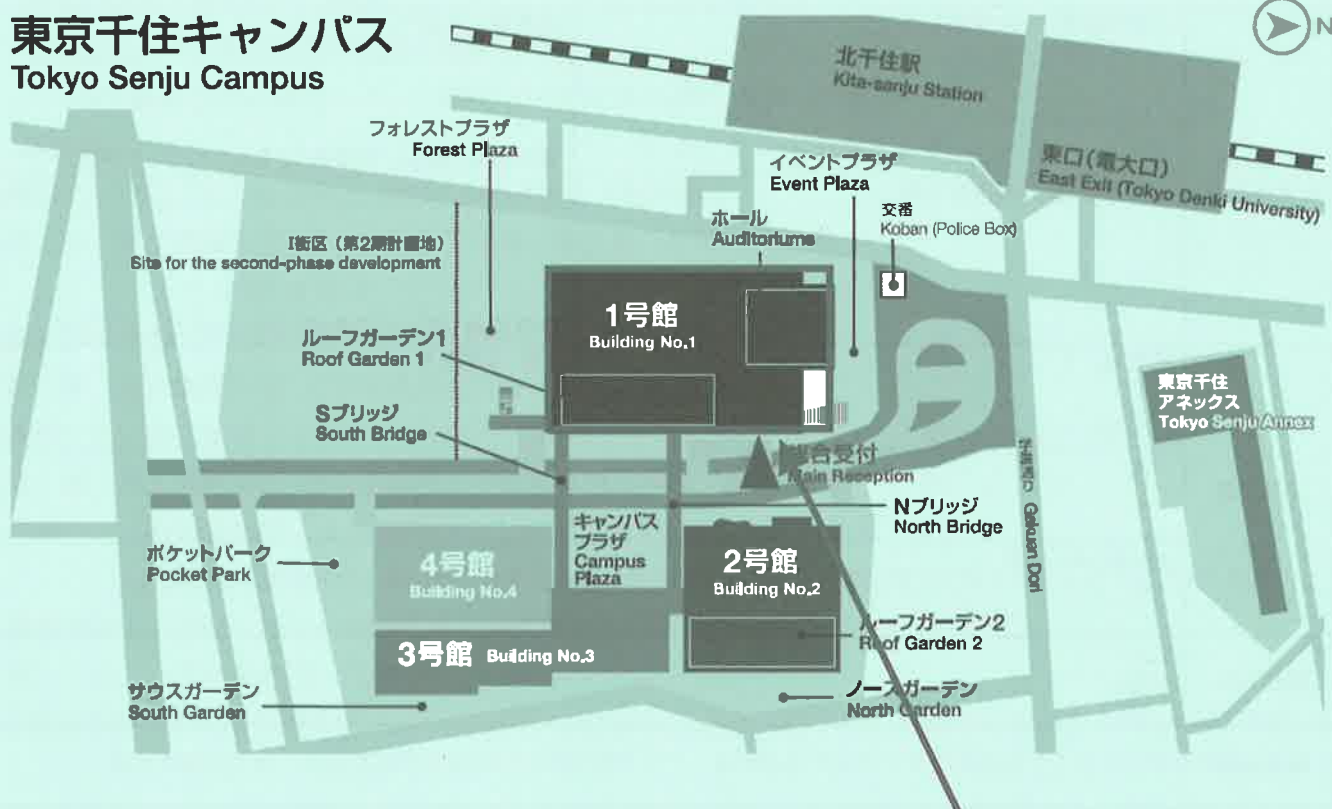
(フリガナ)			
事業所名 (貴社名)			
参加者 (2名様まで)	ご担当部署名/お役職名等	お名前(フリガナ).....	●交流会(参加/不参加)どちらかに○して下さい
	ご担当部署名/お役職名等	お名前(フリガナ).....	
ご連絡先	所在地 〒 _____ (支社・工場名等)		
	TEL _____	FAX _____	
	e-mail(info mail) _____		
貴社 URL	http:// _____		
事業内容			
所属企業	代表者お役職/お名前 _____	従業員数 / 人 _____	資本金 / 万円 _____
	所在地 〒 _____		
本社住所	代表 TEL _____	FAX _____	
	<input type="checkbox"/> 技術相談をしたい (具体的に…) <input type="checkbox"/> 技術指導を受けたい (具体的に…) <input type="checkbox"/> 共同研究を希望する (具体的に…)		
今回関心があるテーマ (該当にし)	<input type="checkbox"/> 小林先生「粒子状物質の生成メカニズムと抑制技術」 <input type="checkbox"/> 鈴木先生「光応答で繰り返し酸素吸着できる高分子材料」 <input type="checkbox"/> 椎葉先生「環境バイオテクノロジーの課題とその利用について」		

※本書式 (Word) は当財団ホームページ (http://www.resona-fdn.or.jp) からダウンロードできます。
 ※本ご案内は、過去に当財団事業にご参加いただいた方、展示会等への出展により社名(個人名)を公表された方、イベント等でご挨拶・名刺交換させていただいた法人・個人の皆様にお送りしております。

会場案内

《 会 場 》 東京電機大学 東京千住キャンパス 1号館 2階 1204 セミナー室
所在地 〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番
《大学連絡先》 TEL : 03-5284-5225 (産官学交流センター)

東京千住キャンパス Tokyo Senju Campus



会場：1号館2階1204セミナー室

【交通案内】

JR・東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線—東京メトロ半蔵門線乗入)・
千代田線・日比谷線・つくばエクスプレス「北千住」駅、東口(電大口)徒歩1分
京成本線「京成関屋」駅より徒歩7分

公益財団法人 リそな中小企業振興財団 事務局
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-2-1 目黒センタービル4F
TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546
<http://www.resona-fdn.or.jp> e-mail staff@resona-fdn.or.jp